

任意団体 IRC 設立趣意書

中之条町をはじめとした吾妻郡地域はかねてより長距離走が盛んに行われており、現在まで数々の有力ランナーを生み出してきました。中之条中学校についても伝統的に陸上・駅伝の強豪校として関東大会や全国大会で複数回優勝するなど華々しい成績を残してきました。これらの輝かしい実績は、選手の頑張りや保護者のご理解はもちろん、顧問教員をはじめとする学校側の多大なご尽力があつての賜物です。

しかし近年、文部科学省による教育改革や教員の働き方改革の一環として、全国的に部活動が縮小・削減されてきており、今後さらに部活動の日数や活動時間の減少が進んでいくものと考えられます。

中之条町でも数年前から中学校の部活動の活動日数の制限が始まり、今年度から朝練習が廃止されるなど部活動が年々縮小されてきています。全国的な潮流を見ると致し方ないことではありますが、部活動縮小の流れは今後止まることはなく、より一層進んでいくものと予想されます。

部活動の練習時間の減少、活動日数の削減が進み、それがそのまま生徒たちのスポーツ活動時間の減少につながってしまうと、これまでのような成績を残すことが困難になるばかりではなく、今までスポーツによってもたらされてきた青少年の心身の健全な発達や挑戦心、向上心、忍耐力、協調性、社会性などを育む機会を奪うことになりかねません。それは生徒たち自身の将来のみならず、学校や地域社会の未来にとっても重大な損失であります。

部活動の縮小は止めることはできませんが、生徒たちの成長の場を奪ってしまつてはいけません。部活動が縮小されても、しっかり練習を積んでもっと記録を伸ばしたい、大会でさらに良い成績を残して上を目指したい、という生徒はたくさんいます。そんな生徒たちの向上心や成長の芽を摘み取ることはできません。今後、そんな生徒たちの受け皿となるのは地域社会しかありません。地域社会としても地元の生徒たちを健全に育成していく責任があります。

以上のように、生徒たちを取り巻く教育環境が変化する中で生徒たちのスポーツに取り組む機会を確保するためにランニングを主体とした任意団体「IRC」を設立いたします。長距離走が根付いてきた地域の伝統を受け継ぐとともに、「もっと記録を伸ばしたい」という生徒たちの受け皿となり、またスポーツを通じて子供たちの心身の健全な育成の一助になれば幸いです。

令和2年9月1日

任意団体 IRC

設立代表者 飯塚淳司